



荒川中
だより

青い雲

村上市立荒川中学校
平成29年度 第12号
平成30年 2月21日発行
Tel 0254-62-3251



教育目標：「めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう」

目指す学校像：「笑顔とハートのある学校」(ハート=熱いハート、温かいハート、柔らかいハート)

この冬は寒波が続き、雪が憎らしく思えるほど、除雪作業に時間を費やしました。この雪で冬がとても長く感じているのは私だけでしょうか。また、インフルエンザも日本では過去最高レベルの流行が続いており、長期化するようです。当校も学級閉鎖の措置をとったクラスが3クラスありました。卒業式や公立高校入試、2年生の修学旅行に影響がないことを願うばかりです。

3月9日(金)の卒業式まであとわずかとなりました。19日(月)の放課後には、卒業生への感謝を込めた「三送会」が生徒会役員(1・2年生)の企画で行われました。3年生の入学してから今までの姿を紹介したスライド上映や交流ゲーム、エール交換、3年生から後輩へのメッセージプレゼント等、全校生徒の「温かいハート」を感じることができました。

体育祭や青雲祭、いじめゼロスクール等の行事や普段の学習、部活動などで、3年生は大変活躍してくれました。3年生が残した功績は必ず後輩達の手本となり、荒川中の良き伝統を引き継いでくれるものと確信しています。こういう素晴らしい生徒たちが荒川中にいること、誇りに思います。

私から感謝の気持ちを込めて、いくつかの「生きるヒント」を贈りたいと思います。

◇「人生のバックボーン」



生きていく上で、精神的な支えとなるバックボーンをもつことは大切です。

Aさんは、とても感じの良い先輩のBさんを目標にしています。Bさんは誰に対しても丁寧に接します。AさんはB先輩に尋ねました。

「Bさんは、店員さんやバスの運転手さんにも、必ず笑顔で『ありがとうございました』と言いますよね。どうしてそうしたことができるのですか？」
「自分でも気づかなかったけれど、母の影響だと思う。」とBさんは答え、続けてこう説明しました。

「子どもの頃、母と銭湯に行くと、母はお金を出しながら『ありがとうございます』と言うの。『お金を払うのに何でお礼を言うの?』と聞くと『お風呂屋さんがなかったら困るでしょ。お風呂屋さんのおかげで、あなたもお母さんも、きれいにさっぱりできるでしょ』この母の言葉が私の中に生きているんだと思うわ」

Bさんのように、親の教えは、良い人生を送る上での揺るぎないバックボーンになるのではないのでしょうか。

◇「陰口との付き合い方」



自分が陰で悪口を言われているらしい。Aさんは、社内の噂を耳にしました。気にしないように努めても、心に引っかかり、仕事に集中できません。

ある先輩に相談すると、「私も陰口に悩んだことがある」と言うのです。Aさんは驚きました。先輩は人柄も温厚で、周囲から信頼のあつい人だったからです。さらに先輩は、「でも『陰口は、言われても言わないようにする』と決めたんだ。それからはそんな自分に誇りがもてるようになったよ」と続けました。

その言葉を聞いて、先輩が信頼される秘訣が分かったような気がしました。「誉めて千人、悪口万人」と言われるように、人を悪く言う人は、いつの時代も、どんな場所でも多いものです。陰口を反面教師として、自分には厳しく、人には優しさをもって接していれば、陰口を言う人からも「ありがとう」と感謝される日が来るかもしれません。

自分は人の悪口を言わない。そう心に誓って、毅然(きぜん)とした態度で仕事に臨むようになった時、Aさんの耳に、陰口は入ってこなくなったのです。

自分の生き方に誇りをもてるように！

◇「息子達へ」

この五つの言葉を守っていれば、人生何があってもすべてうまくいくはず。それは「あおいくま」

【あ】あせるな！ 【お】おこるな！ 【い】いばるな！ 【く】くさるな！ 【ま】まけるな！

【焦るな！】

人が失敗を招くのは、ほとんどが焦った時。早く結果を出したい時。心配で不安で、どうにかしたい時。先が無いと思い、慌てて行動する時。

焦るのは、焦る理由があって、その焦る理由を冷静に見つめて考えたら、「あれ？これって焦る必要ないじゃん！」と思えるかも。

焦らなければ大丈夫、すべてはうまくいく。



【怒るな！】

怒りというのは実は違う感情からこみ上げてくるものだ。まず、悲しみや恐怖、苦しみなどがあって、それを隠すために怒りになる。

自分が怒ったと感じた瞬間、その怒りを冷静に受け止めて、静かに自分の心を見つめてみると、怒りの後ろの隠れている、自分の知らない本音が見つかるかもしれない。

怒りは我慢しなければいつでも何処でも湧き出る感情かもしれないが、出したところで誰もがいい気持ちにはならない。自分も相手も誰をも幸せにはしない感情。

怒らなければ大丈夫、すべてはうまくいく。

【威張るな！】

何か人より優れていたりうまくいったりすると威張りたくなる。人生の落とし穴に落ちる時があるとしたら威張った時（謙虚さを失った時）が一番危ない。うまくいっている時こそ、「これは〇〇さんのお陰だ！ありがとう！」と思えたら落とし穴には落ちずにすむ。

人に威張るといのは、実は自分に自信がないから。自分に正当な自信をつけられたら一番いい。威張らなければ大丈夫、すべてはうまくいく。

【くさるな！】=くよくよするな！

「どうせ自分なんて」って思うことは誰でもある。そしてその気持ちに、投げやりさが含まれた時に「くさる」という態度になって現れる。そして、くさった気持ちでくよくよして「こんな自分なんて！」って思って投げってしまったらせっかくうまくいっている事もうまくなくなる。

もし、「こんな自分なんて！」と思ってしまったとしたら、そのあとで、「でも、自分のことが大好きで大切。だって自分と一番付き合ってくれるのは自分自身なんだから。ありがとう自分！」と感謝してあげて欲しい。くさらなければ（くよくよしなければ）大丈夫、すべてはうまくいく。

【負けるな！】

この「負けるな！」という言葉は実は少し難しい。なぜなら負けてもいい時もあるから。

勝ちにこだわる事は大事だが、そのために苦しみを味わうこともある。勝ちだけを意識して汚い手を使い、大切なものを失うこともあるからだ。

「負けるな！」を違う言葉でいうと、「逃げるな！」という言葉だ。時と場合によっては勝負に負けてしまうことがあるが、逃げてはいけない。人に負けることはあるかもしれないが、自分に負けることだけはしたくない。

なぜなら自分からは逃げられないから。自分に負けなければ大丈夫、すべてはうまくいく。

祝 表 彰

【第2回 数学検定】〈12月2日（土）受検〉

◇3級合格者

3年1組	佐藤 颯				
3年2組	伊藤 貴史	井上 愛美	横野 美涼	渡邊 幸哉	
3年3組	志村 拓人	渡邊 健			

【バドミントン部】〈第19回水野杯争奪中学生バドミントン大会 1月21日（日）〉

新人女子シングルス

1位	玉木 愛渚(1-3)
3位	菅原 希満(1-1)